

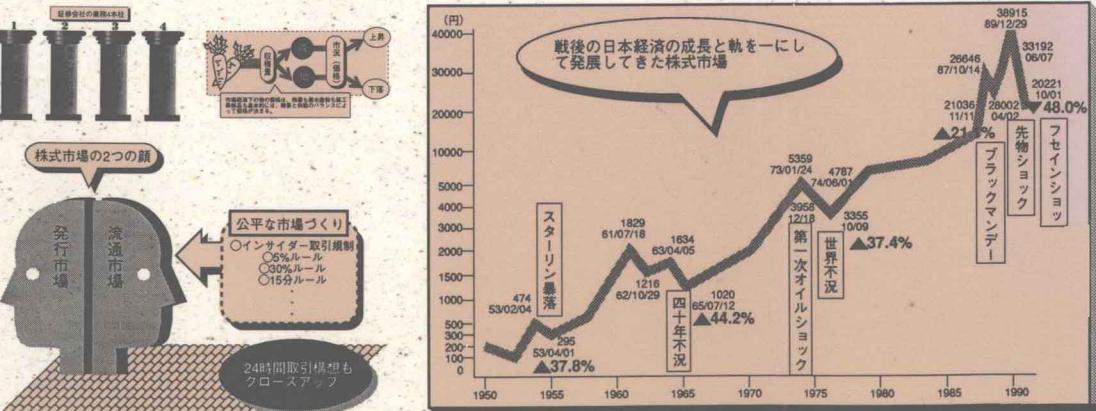
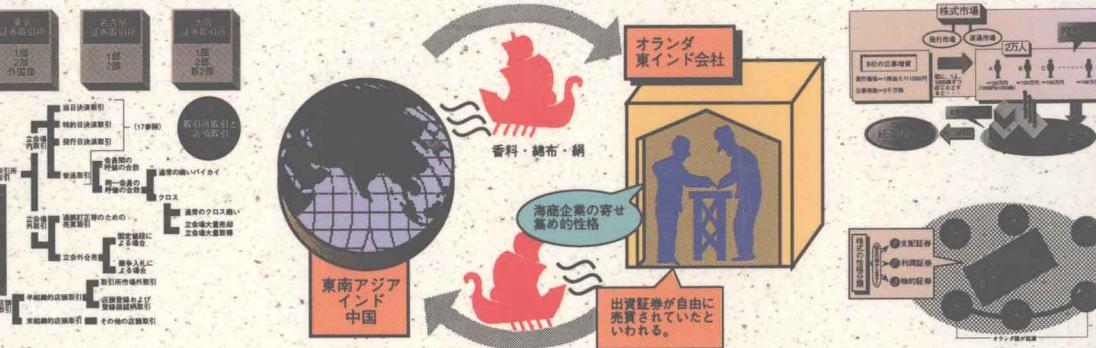
見る  
読む  
わかる

いつの世も基本を知るものが勝つ!  
私たちを取り巻く社会環境は、ますます複雑化、高度・高速化しています。  
従来にない新しいテーマやシステムや問題点が次々と現れます。  
本書は「株」の世界の基礎から実践、最先端までが、  
77項目で手早く理解できる「大人の一般教養書」。  
「見る見るわかるビジュアル解説で、あなたの知性をパワーアップ!」

## 入門の入門

# “株”のしくみ

杉村富生著



見る  
読む  
わかる

アラートで手早く理解できる 大人の一般教養書  
見る見るわかるビジュアル解説で、あなたの知識をパワーアップ!

入門の入門

# “株”のしくみ

杉村富生著

## 杉村 富生(すぎむら とみお)

昭和24年、熊本県に生まれる。明治大学法学部を昭和47年に卒業、株式新聞社に入社。以来、20年にわたり一貫して金融、経済、産業の第一線の取材、新聞編集に携わり、証券部長を経たのち現在、実戦派の株式評論家、経済ジャーナリストとして活躍中。また、ニッポン放送の「中年探偵団」にレギュラー出演中。そのわかりやすい株や経済の解説には定評がある。

主な著書に『あなたも明日はお金持ち』、『予見能力を高めよ』(株式新聞社)、『株式専門紙の読み方』(共著、オーエス出版)、『ズバリ！よい株・わるい株』(共著、日本実業出版社)などがある。

## 入門の入門 “株”のしくみ

1991年2月25日 初版発行

1993年3月10日 第12刷発行

著者 杉村 富生

発行者 中村洋一郎

発行所 株式会社 日本実業出版社

東京都文京区本郷3丁目2番12号 ●113

☎代表03(3814)5161 振替 東京7-25349

大阪市北区西天満6丁目8番1号 ●530

☎代表 06(362)6141 振替 大阪2-17558

印刷／壯光舎 製本／若林製本

©T. Sugimura 1991. Printed in JAPAN  
ISBN4-534-01699-9

落丁・乱丁本は、送料小社  
負担にてお取替え致します

## まえがき

ここ十年あまりの間に、株式投資はグーンと身近なものになりました。NTT株式の公開がひとつのかぎになつたといわれていますが、いまや株式投資が家計の資産運用の一部に組み込まれてゐる方もおられることでしょう。

しかし、いまだに株式投資は難しい、よくわからない、と思つておられる方も多いことでしょうし、実際に株式投資をなさつてゐる人でも、ちょっとした疑問点はけつこうあるのではないかでしょうか。けれど、いざ基本的なことを勉強しよう、株式投資のイロハを学びたい、と思つたつても、解説書そのものが難解ですし、出てくる独特の用語も理解できないものばかり、なんて経験をおもちの方も多いことでしょう。

私は年間七、八十回の講演会や株式セミナー、投資相談会などを行なつていますが、いつもきまつて質問されるのが、本当に基本的な株式投資の入門書はないか、というものなんです。そこで、そうした声に応えるべく書き下したのが本書、『入門の入門』です。そもそも“株”ってナニ？といったところから始まり、株式市場や相場のしきみ、さらに投資尺度の解説や最近はやりのニューマーケットの紹介まで、幅広く、わかり易く説明してみたつもりです。

また、株式投資は“心理戦争”ともいわれます。心のアヤをとらえた相場格言やよく出てくる株式用語ミニ解説をつけておきました。本書を契機に、より多くの方が正確で役に立つ“株”的知識を身につけられることを願つております。

杉村 富生

# そもそも“株”ってナニ？

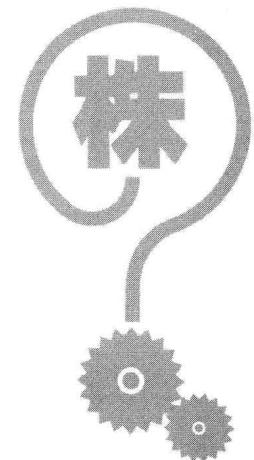
## 1章

① “株”のはじまりは？	8
株と投機は混同されがちだが、いまではオランダ東インド会社起源説が有力	
②そもそも株式ってナ～ニ？	10
株式とは株式会社における出資者（株主）の持分を示す有価証券	
③株式会社のしくみは？	12
小さな資金を集め、大きな資本にして事業を行ない、その責任は有限	
④株主になるということは？	14
その会社に投資するということで、出資額に応じて責任と権利が生じる	
⑤株券って誰が発行するの？	16
会社が発行し、その会社に対する出資を証明するのが株券（株式）	
⑥株を売買するということは？	18
株式の売買はすなわち投資であり、株主の権利を売買すること	
⑦株式売買の目的は？	20
企業は資金調達（発行市場）、投資家は儲けるため（流通市場）	
⑧株式相場ってナ～ニ？	22
モノの価格は需要と供給のバランスで決まる。ダイコンも株式も同じこと	
⑨株式市場と日本経済	24
日本の株式市場は、戦後日本経済の成長と軌を一にし、世界第二位の市場に	
⑩株式市場と世界経済	26
資本は国際化し、世界中のニュースに敏感に反応を見せる	
⑪株式市場と政治・経済活動	28
株式市場の安定が経済の発展につながる。逆もまた真なり	

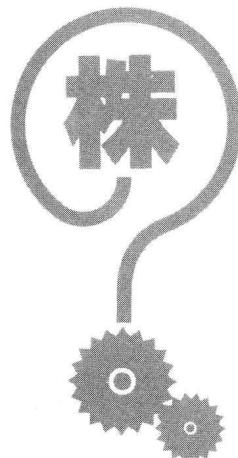
# 株式市場のしくみは？

## 2章

⑫株式市場とは？	32
産業界に資金を供給し、金融資産運用の場を提供する	
⑬証券取引所とは？	34
株や債券などを売買する証券流通市場の中心	
⑭上場会社と非上場会社	36
一般投資家が市場で売買できるのは上場株だけ	
⑮種類と基準	38
一部、二部、店頭、東証外国部、大証新二部など	
⑯証券会社は何をするの？	40
投資と貯蓄のデパートである証券会社の仕事には四つの柱がある	
⑰注文の仕方と決済	42
何（どの銘柄）を、何株、いくらで、どのように、売るのか買うのか	
⑱注文時の注意点	44
注文の仕方（指し値、成り行き、寄付き、大引け、計らい）と売買単位	
⑲お金の流れと税金	46
売った時と買った時で違う税金。源泉と申告は選択を	
⑳株価の決まり方	48
「価格優先」と「時間優先」の二大原則とザラバ方式と板寄せ方式	
㉑システム銘柄と立会場銘柄	50
いまや市場はコンピューターの中。「場立ち」がなくなる日も近い？	
㉒信用取引とは？	52
証券会社が顧客に信用を供与して行なう有価証券取引	



Structure  
of  
Stock Market



**Structure  
of  
Stock Market**

# 3 章

## 株価を決めるものはナニ？

⑩株価は何で決まるの？	56
内部要因と外部要因に加え、投資家の複雑な思惑や予測が絡み合う	
⑪これまでの株価水準の歩み	58
幾多の暴落を乗り越え、トレンドは一貫して右肩上がり	
⑫企業の業績と株価	60
株価に影響を与える業績とは「予測」のこと。みんなが知ったらおしまい	
⑬株式需給とは？	62
株価は買いが多ければ上昇、売りが多ければ下落。この基本図式が株式需給	
⑭金利と株価	64
金利上昇→株価下落、金利低下→株価上昇、が基本図式	
⑮為替と株価	66
為替の動向は金利に影響を与え、株価を決める重要な要因となる	
⑯景気と株価	68
大相場は、不況の最終局面でスタートし、景気のピーク前に終わる	
⑰ファイナンスと株価	70
昔「ファイナンスは買い！」、いま「ファイナンス明けを狙え！」	
⑱海外情勢と株価	72
大暴落は海外からやってくる！	
⑲政治と株価の密接な関係	74
歴史的にみて、社会主義指向の政権下では株式市場は沈滞する	
⑳新技術・新製品と株価	76
市場は夢を評価しようとするが、理想買いだけでチョン！ のケースも	

# 4 章

## 株式を買の主役は誰か？

㉑法人と個人投資家	80
機関化現象が高まっているが、個人投資家こそが市場の担い手	
㉒外人投資家	82
過去、外人買いブームは三回。有力投資家「ガイジン」はこれからどう動く	
㉓機関投資家ってダーレ？	84
生保、投信、年金など膨大な資金運用で相場を左右する力をもつ	
㉔大手証券	86
四大証券はマーケットに与える影響が大きく、その動向に注目が集まる	
㉕投信	88
投資信託の特色は資金の合同運用、分散投資。基本的には元本保証ではない	
㉖特金・ファントラ	90
特定金銭信託と特定金外信託・指定金外信託はいま曲がり角	
㉗仕手	92
「仕手は市場の潤滑油」ともいわれ、近年はM&A活発化の流れにも関係	
㉘投資顧問	94
金融資産の運用に助言と情報提供を専門的に行なう認可業者と登録業者	
㉙ディーラー	96
自己売買業者は行き過ぎがないように、厳しい規制を受けている	
㉚年金	98
年金の運用資金は、二十一世紀に向けて株式の最大購入者になる見込み	
㉛従業員持株会	100
従業員の財産形成とともに、大株主として株主安定化に貢献している	

## 相場を作るもの動かすもの

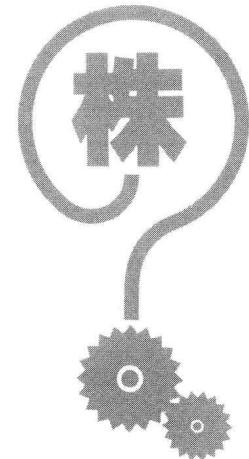
# 5章

⑮なぜ暴落するのか	104
戦後の大きな上昇相場は五回。相場には周期（リズム）がある	
⑯M&A	106
企業のリストラの波の中、合併・買収、株式の公開買い付けは本格化する	
⑰仕手株・仕手化するとは	108
時代とともに仕手筋も変化している。非難もあるが、株の醍醐味でもある	
⑲マル政銘柄	110
政治資金作りと言わながら真相はいつもヤブの中。総選挙の年などに動く	
⑳システム売買・裁定取引の影響	112
上昇相場では上げに弾みを、下降相場では下げるに加速をつけるとの非難も	
㉑政策・景気・国際情勢	114
国の政策、景気の中身、国際情勢、いずれにせよ「外圧」に弱い日本の体質	
㉒材料	116
二大株価決定要因（業績・需給関係）の背景にある材料は無数に絡み合う	
㉓相場テーマの作られ方	118
テーマのバックにあるものは「世相」。それを株式市場がスケッチしていく	
㉔相場テーマの読み方	120
株価には先見性がある。後追いではダメ、先回りして勝つ！	
㉕テーマと知的連想ゲーム	122
出来事やデータから将来を予測し有望株を探す。シナリオは自分で描け！	
㉖情報を流すヒト・読むヒト	124
マスコミ、アナリスト、評論家、機関投資家など各々の背景・立場を知る	

## 投資の尺度・技術あれこれ

# 6章

㉗出来高・売買代金	128
市場エネルギーを計るモノサシとしてだけでなく、個々の銘柄でも重要指標	
㉘平均株価	130
そのデータの連続性で投資家に愛用されている生き物のような指標	
㉙利益・連結決算	132
株価の先見性は、早い時期から予想数字（特に変化率）を織り込んで動く	
㉚利回り	134
「利回り革命」までは投資尺度の王様。配当性向も低下する一方だ	
㉛PERとEPS	136
株価収益率は成長株理論で、一株利益の何倍に株価が買われているかを見る	
㉜PBR	138
純資産倍率といい、解散価値とも。通常は二倍を切ってくれば底値圏	
㉝ファンダメンタルとテクニカル	140
株価分析のアプローチにはファンダメンタルズ分析とテクニカル分析がある	
㉞チャートのいろいろ	142
移動平均線を中心とする米国式チャート。グランビルの八法則が有名	
㉟ケイ線の見方	144
ケイ線の王様は陰陽（ローソク）足。いろいろな型で相場の転換点を知る	
㉟市場関連指標の見方	146
相場全体の強弱や物色の傾向をつかむものなど様々。組み合わせて効果あり	
㉚新しいモノサシあれこれ	148
ゴールデン（デッド）クロス、カイリ率、サイコロジカルラインなどなど	

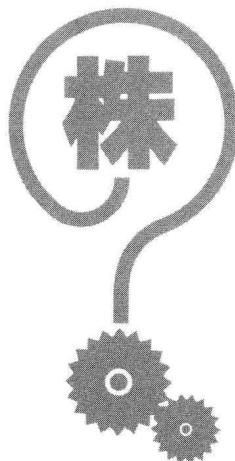


Structure  
of  
Stock Market

# 7章

## ニューマーケットのしくみ

⑥店頭市場	152
九一年のJASDAQ導入で、よりスケールの大きいマーケットに	
⑩大証新二部市場	154
性格は店頭市場に似ているが、れっきとした上場株式。将来性に期待	
⑪CBO(転換社債)	156
一定の確定利息を受けながら、株式転換やCBOの売買でキャピタルゲインも	
⑫ワラント	158
いわば権利に値をつけて売買するもの。ギャリング効果期待と紙クズの恐怖	
⑬株価指指数先物取引	160
いまやその売買代金は現物市場をはるかに上回るスケールになっている	
⑭オプション取引	162
株価が高くなると思えばコールを買いプットを売る。安くなると思えば反対	
⑮東証外国部	164
少額資金でスタートでき、日本に居ながらにして国際分散投資の足掛かりに	
⑯インデックス投信・システム運用	166
巨額の資金運用に適したインデックス、システム運用。上げ相場で安定利益	
⑰カントリーファンド	168
間接的に高成長国に投資することができ購入方法は米国株を買うのと同じ	
⑱海外市場	170
米国のリセッション、ドイツのインフレが懸念材料。欧州は一大市場誕生へ	
⑲株式市場、相場の今後は?	172
九〇年以降の暴落は十年に一度の調整。逆にいえば十年に一度のチャンス	



Structure  
of  
Stock Market



欲儲強氣も弱氣も  
ばりは儲からぬ

これはウォール街の格言。株式市場は売りにも買いにもチャンスがある。しかし、欲ばってはダメ。

# 1 章

## そもそも “株”ってナニ？

---

株のはじまりって知っていますか？ そもそも株式って何で  
しょう？ 株式会社のしくみは？ 株主になるということ  
は？ 株券って誰が発行して、誰が何のために売買するの？  
……まずは、そんなところからスタートしてみましょう。

# 1



# “株”のはじまりは？

“株”、すなわち株式・株式会社の始まり（起源）については諸説があります。当初はルネサンス期のイタリアにおけるジェノヴァのサン・ジョルジオ財團（サン・ジヨルジオ銀行）が株式会社の祖とみられていたのですが、現在ではオランダ東インド会社を起源とする見方が一般的です。

オランダ東インド会社は外国貿易を営む海商企業の寄せ集め的な性格を持っていましたが、海商企業そのものが有限責任の出資者群

から成り、その出資証券が自由に売買されていたそうです。ただし、同じ名前の東インド会社でもイギリスやフランスのそれは貿易商人たちのギルド（組合）的な色彩が強く、現在の株式会社とはやや形態を異にしていたようです。

ちなみに、東印度会社は十七世紀にイギリス、オランダ、フランスなどで相次いで設立され、アジアとの貿易、アジア植民地の経営を行なった独占企業です。東南アジアの香料、インドの綿布、中

国の絹などを輸入し、ばく大な利益を得ていたのです。のちに植民地支配のための国策企業になります。

これ以前にも「船舶共有組合」があり、考え方そのものは株式会社に似ています。わかりやすく説明しますと、多くの人達が自分が出せる範囲の資金を搬出し、これを集めて商船を仕立て、アジアに向うのです。もちろん、船乗りはプロにまかせます。出資者はヨーロッパに居ながら、商船の帰りを待ちます。うまく行けば何十倍、何百倍になつて出資金が戻つて来ます。しかし、嵐や海賊に襲われたりすると、出資金はパー。まさに、出資額に応じて責任を負い、

？？？

8

**動意** 株価が徐々に動き出すこと。動兆ともいう。上昇に転じるときに使う。



成功すればハイリター。最近、大はやりのベンチャーキャピタル、投資組合にそっくりだと思いませんか。

一方、わが国に株式会社の企画・組織が入ってきたのは明治維新（一八六八年）以後のことです。我が国最初の株式会社の設立は明治一年といわれていますが、この時の通商会社や為替会社はいずれも不完全で、その多くが失敗したそうです。

本格的な株式会社の登場は明治五年の国立銀行条例の公布を待たねばなりません。この条例では、国立銀行は株式会社でなければならぬ」と規定していたのです。

なお、よく“株”のはじまりと混同されやすい“投機”的始まりについてはオランダの「チューリップ事件」、イギリスの「南海泡沫事件」、わが国では明治三十九年の「南満州鉄道株式会社の株式募集」などが有名ですね。

# 2



# そもそも株式ってナニ?

\*株式とは株式会社における出資者(株主)の持ち分を示す有価証券

株式——外国語ではアクツイエ（ドイツ）、アクション（フランス）、アクシー（オランダ）などと言いますが、いずれもオランダ語が起源です。米国ではストック、英國ではシェアが使われます。中國では公司といいますね。株式とは株式会社における株主としての地位を示す有価証券、それが株券です。

の“持ち分”ということです。外國語の呼び方では、英國のShare（シェア）がその意味をもつとも良く表わしていますね。

株式の種類には額面株式、無額面株式があります。会社設立時に発行する株式の一株当たりの金額が決められているものを、額面株式といいます。一九八二年十月の商法改正で新設会社の額面金額は一株五万円以上となっています。もっととも、上場企業の五万円額

面株は二千一千だけで、その他は大半が五〇円額面株。一部ですが、東京電力をはじめとする電力株やKDDなどの五〇〇円額面株、テアトル、東海観光などの二〇円額面株があります。

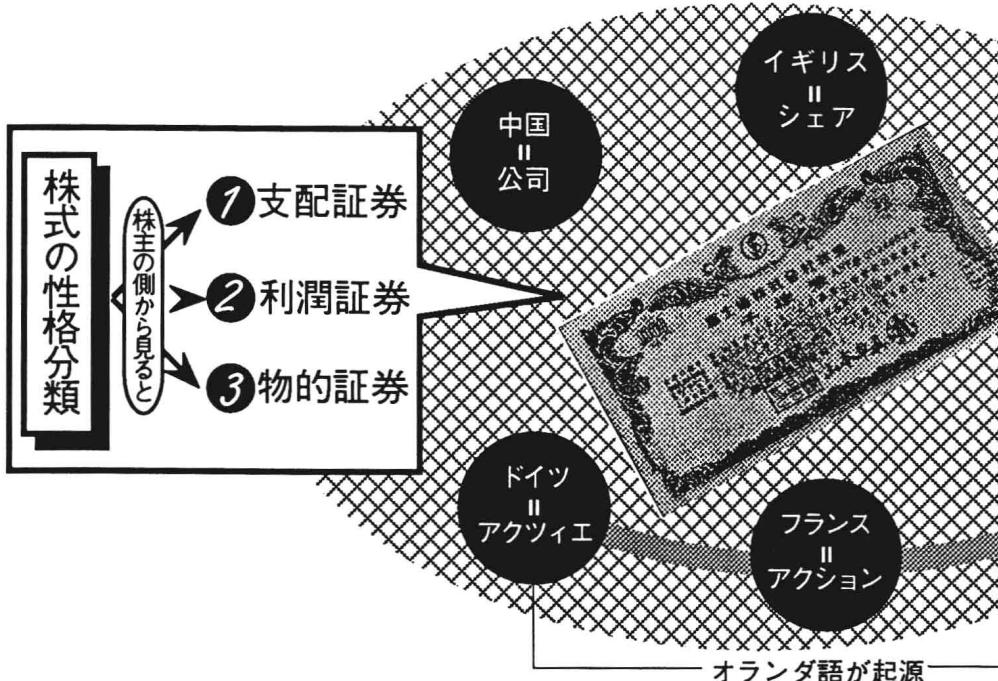
これに対し、無額面株もあります。最近は時価発行増資が定着、額面そのものが有名無実化していますので無額面株が増えている傾向にあります。また、優先株（配当と残余財産を受け取る順位に優先権がある株式）、後配株（優先株と逆の株式）といった種類もあります。

一方、株式を持つ側から権利としての性格を大きく分けますと、  
①支配証券②利潤証券③物的証券

USA  
II  
ストック

オランダ  
II  
アクシー

**上放れ** もみ合い相場から一段上に買われること。逆に、下に売られることは**下放れ**という。



オランダ語が起源

——の三つに大別できます。株主は出資額に応じ、株主としての権利を主張できますが、その第一が株主総会に出席し、会社の経営に参加する権利でしよう。発行済み株式総数の3%以上の株式を所有していれば株主総会の開催を請求することができます。もちろん、過半数の株式を持つ株主は会社の経営権を握れます。最近のM&Aの動きは経営支配をめぐる争い、との見方ができます。

利潤証券とは会社の収益分配に参加する権利です。株主は配当、無償増資などの形で収益の分配を受けることができます。

物的証券は会社が解散する時に財産の分配にあずかる権利を持っているということです。これは商法四二五条に規定されています。株式市場において、土地の含みなどを評価して人気化（株価が上昇）することがありますが、これはまさに物的証券としての価値を買っているのです。

# 3



# 株式会社のしくみは?

\* 小さな資金を集め、大きな資本にして事業を行ない、その責任は有限

わが国には株式会社が二百万社弱あります。トヨタ、ソニー、日立、新日鐵、富士銀行など皆さんよく知っているような主要企業はほとんどが株式会社です。海外でもIBM、ベンツ、GMなど著名企業はすべて株式会社の形態をとっています。オランダで始まった株式会社がこれほど普及したということは、とりもなおさずこのシステムが優れている、という証拠でしよう。

株式会社とは会社に対する出資、すなわち株式の集合体ですが、そ

のメリットを挙げれば第一に、小さな資金を集め、巨額の資金にして、大事業を行なうことが可能、といふ点でしよう。事業を始めるには膨大な資金が必要です。事業の元はモノ、力、人——といわれますが、モノを取得し、人を雇うには力がいります。その資金(力)を効率良く、しかも広範囲に集められる株式会社のシステムにまざるものはありません。

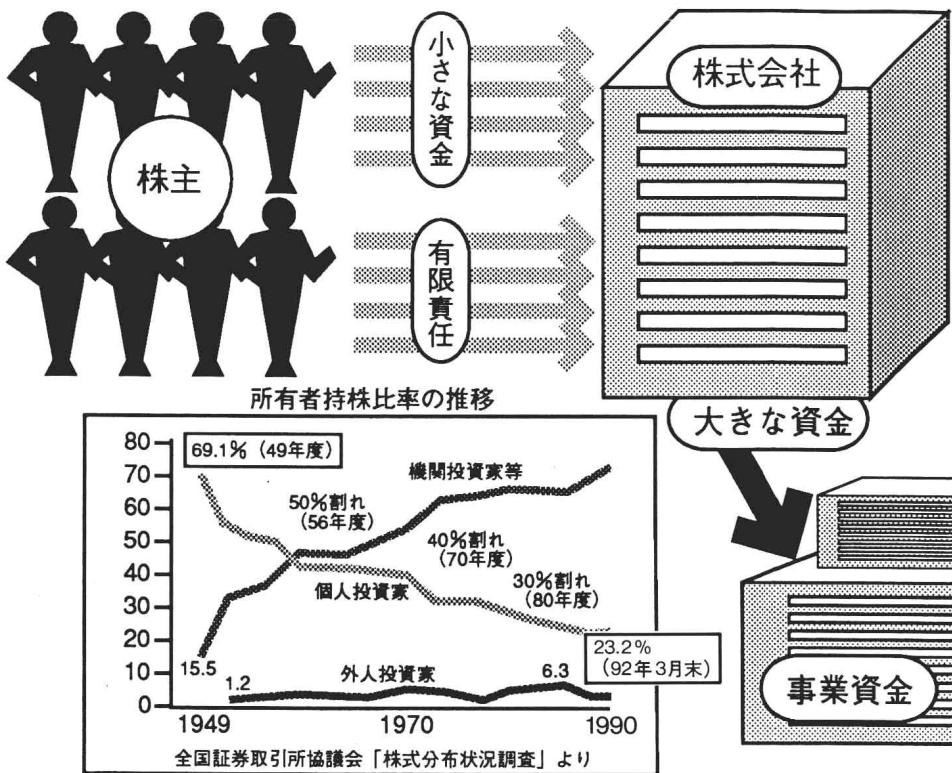
第二の利点は**有限責任**、ということでしょう。株式会社は出資者を募り、その出資金額に応じ株券

(株式=出資を証明する証券)を発行します。出資者(株主)は出資金額の限度(範囲内)においてのみ、責任を負います。要するに、株式会社が借金(負債)をかかえ倒産しても、株主は出資分をあきらめるだけで済みます。株式会社の株主の責任は“有限”なのです。

しかし、合名会社だと、そうはいきません。合名会社が倒産した場合、株主は出資金にとどまらず、個人財産を提供し、損金を埋めなければなりません。すなわち、責任は“無限”なのです。

話は元に戻りますが、株式会社の株主には諸々の権利があります。株主総会に参加し、議決する権利(共益権)、配当や無償をもつて権

出直り 売られ続けていた株式が底入れし反発に転じること。



利、および株式会社が解散する時、財産分配にあずかる権利（自益権）——などです。株式会社の経営者（陣）にとっては前述の権利が逆に“義務”になります。

株式会社については2章で詳しく述べますが、上場企業と非上場企業があり、これを構成する株主には個人、法人、外人などの区別がなされています。全上場企業の発行株式に占める個人の比率は昭和二十五年度には六一・三%もあつたのですが、現在では二三・二%（平成四年三月末）と大きく落ち込んでいます。一方、個人のシエア低下に反比例し、法人の持株比率は七一%台に上昇（機関化現象）。外人の持株比率は五%程度（平成四年三月末）です。昭和五十八年には六・三%もありました。法人の比率アップは法人間の株式持ち合いが増えた結果です。ただし、この株式持ち合いは日米構造協議において、米国から批判されおり、曲がり角に来ています。



# 4



## \*その会社に出資するということ、出資額に応じて責任と権利が生じる 株主になると何が?\*

株主にはだれでもなれるのでしょうか。株式会社に出資する（株式を買う）、という行為は自由にできます。最近では、中・高校生も株式売買（株式投資）をする時代です。ただ、株式会社を新しく設立する時の発起人になるには条件があります。

若干、繰り返しになりますが、株主になるというのはその会社に投資するのと同じ意味。株主は出

資額に応じて責任を負うことになります。株主になれば配当、増資（株式分割、株主割り当ての有償額面増資、中間発行など）の権利を受けることができます。株式会社解散時の残余財産分配権もあります。総会に出席し、役員の選出、決算案の可否などの審議に参加し議決する権利もあります。

こうした株主の権利（株主権）は平等な取り扱いを受けるのが原則です。

則です。しかし、持ち株数に応じ、その権利に若干の差が生じるのはやむを得ません。例えば、当該企業の発行済み株式総数の十分の二以上の株式を持っている株主には帳簿閲覧権が与えられています。

大株主にはいろいろな“特典”がある半面、制約も受けます。一番（トップ）の大株主を筆頭株主といいますが、この筆頭株主が金融機関（メインバンク）の場合、「株主は出資額に応じて責任を負えばよい」と開き直ってはいられません。

その好例が住友銀行とイトマン（伊藤萬）の関係でしよう。経営危機に陥っているイトマンを救うために、住友銀行は大株主として